

静岡市の「みずからニュース」では、最初に水害から皆さんの町を守る活動をする、「水防団」を紹介したいと思います。なお、水防団がない地域では、消防団が水防活動を行っています。



ねえ、「水防団」って知ってる？

ふっ、仮にも大規模氾濫減災協議会のキャラクターに対する質問ではないね。
もちろん知ってるよ。火事の際に火を消したりするんだよね。



そうそう、火事が起きないように注意喚起をしたりもしてるね...
って、それは「消防団」だよ！そこはボケなくていいんだよ！

大規模氾濫減災協議会のキャラクターが聞いて呆れるわ...。
「水防団」はみんなの町を水害から守る活動をしているのよ。



静岡市には2000人以上の水防団員がいて、河川の危険箇所を巡視したり、川が氾濫しそうなときには色々な「水防工法」によって町を水害から守るんだ。
そのために、毎年、水防演習を行って水害にそなえているんだよ。

水防団員は普段は別の仕事をしていて、川の氾濫による水害が起きそうなときに活動してくれるのよね。（尊敬の眼差し）



平成30年度静岡市水防演習

平成30年6月3日に静岡市水防演習を実施しました。当日は1,443人の水防団員、121人の消防団員が参加して、色々な水防工法を実施しました。

年に1度、各分団が一同に会して実施する水防演習です。この演習には消防団も参加しています。



これは「枠組み工」といって、水の流れをゆるやかにしたり、堤防が崩れた場所を保護するために行う工法です。難しそうな工法ですね。



これは「木流し工」ね。木や竹を堤防の上から川に入れて水の流れをゆるやかにして堤防が壊れるのを防ぐのね。



これは「シート張り工」。ビニールシートを使って、激しい水の流れから堤防を保護する工法だね。



これは「改良積み土のう工」ね。土のうとシートを組み合わせているところが「改良」なのね。



こっちは「月の輪工」。堤防から水が漏れてきたときに、ここに水をためて漏水の勢いを弱めて、穴が広がるのを防ぐ工法だね。

静岡市立井宮小学校の防災教育授業の様子

平成30年9月13日に、井宮小学校の防災授業で、静岡市水防団の内田秋夫副団長が水防団の活動や台風など大雨の際の注意事項などを説明し、静岡市水防団安倍川第2分団が土のう作りの実技指導を行いました。

子どもたちは、水防団の活動や風水害についての説明を真剣に聴いていました。自分や家族の安全を一生懸命考えて、水害対策などについて質問していました。

内田副団長が土のうのつくり方を説明しています。土のうの縛り方にもやり方があるんですね。



安倍川第2分団が、土のう作りを実演しました。その様子を子どもたちは真剣に見ていました。

子どもたちが実際に土のう作りに挑戦しました。上手にできたかな？

